

# Izayoi String Quartet

# 十六夜弦楽四重奏団

## The 12th Regular Concert

モーツァルト 弦楽四重奏曲 第14番  
W. A. Mozart, String Quartet No. 14, in G major, K. 387

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲 第15番  
L. V. Beethoven, String Quartet No. 15, in A minor, op. 132

2019年 12月21日(土) 14:00 開演(13:30 開場)

入場無料

未就学児のご入場はご遠慮ください。  
携帯電話の電源はお切りください。  
写真撮影等他のお客様の御迷惑になりますので  
ご遠慮ください。



### 一井 宏磯 1st Violin

もしあなたが動機や目的を持って生きているなら、葛藤や対立といった障害を常に目のあたりにする。そして理想、夢、希望に現実逃避している事にすら気がつかなくなるであろう。そして遠い過去としての美しい思い出だけが残る。それはそれでも結構なことでもあろう。しかし一切の判断を交えずに、この瞬間を生きるなら、現実の中に始まりのないものの存在に気がつく。あるギリシャの哲学者によると永遠は始まりを持たず、始まりのないものだけが永遠だそうだ。なぜなら動かされているものはいつか必ず止まる。生かされているものはすでに死んでおり、原因をたずねずから動くものだけが永遠に生きることができる。目的のように生み出されるものはいずれ消え去る事が必定。しかし本当の意味での自由(制限からの自由でも、選択の自由でもなく)は決して死ぬことのない、何事にも執着することがない。我々を取り巻く物質はおろか善悪といった概念も、感覚や思考の産物でしかない。それらのもので心を満たしている限り、始まりのないものを見ることはない。全ての意図や理由の無意味さに気がついている時、心の雑音が死んだ時、始まりのない歌が心に響く。

### 糸井 佐知子 2nd Violin

バレエのクラスにまじめに入るようになって2年、基本的な動きをがんばってやっている私ですが、踊りも身体を音楽に合わせて動かすのではなく、音楽とともに音楽のように動かす、です。  
Vnを弾くことも全く同じで、刻々と変わりゆく音楽を生み出すとは、精密に楽器とともに踊る(身体を動かす)ことなのです。

### 吉川 昌毅 Viola

学生のとき所属していた音楽サークルでは、授業をサポートしたりしてふらっと部屋へ出かけ、そこで弦のメンバーが揃うと好きな弦楽四重奏曲を合わせて遊んでいた。フーガ技法が楽しいモーツァルト K387の終楽章や、ベートーヴェン Op.132の3楽章、内輪の通称《祈りの歌》は、よく選ばれていた。(当時、麻雀が流行っていたが、暇な4人組の遊びとして、カルテットもよく似ているなど思っていた。参加せずに横で見ているだけではつまらないことも同じ。)

その頃から30年以上が経つ。コンサートで取り上げるこの機会に向き合ってみて、技術とか解釈とかの議論はさておき、やはり、好きなものは好き。演奏することは楽しい。

### 久々津 邦子 Violoncello

「あなたは音楽をしているのではありませんでしたね。勉強をしていましたね。音楽に勉強は必要です。しかし、その勉強の上に音楽がありますよね。音楽はあなたです。勉強はあなたではありません。あなたが、私の前で、ずうっと勉強ばかりしているのを、私は不思議に思っていました。」  
(「船に乗れ!! 独奏」藤谷治著 / ジャイブ 2009 より)

主人公の津島サトルはチェリストをめざす高校生である。自分ではそれなりに弾けるつもりでいたが、留学先のドイツでレッスンを受けた後、先生からこの言葉をいわれる。もちろん勉強は重要だ。音程もとらなくては行けないし、リズムも的確でなければいけない。しかし、いったい何のために全ての勉強をしているかということ、忘れてはいけない。私も。

## 会場：カトリック西陣聖ヨゼフ教会

京都市上京区新町通一条上ル  
地下鉄烏丸線今出川駅より徒歩 10分

主催、お問い合わせ：十六夜弦楽四重奏団  
糸井佐知子 Tel.: 075-467-4329  
イチイヒロキヴァイオリンショップ (株) <http://violinshop.co.jp>

